

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム新栄

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 4月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25、48	入居者が出来ること、望むことを職員都合で制限していることがある。	個々に似合った役割を提供して、QOLが向上する。	アセスメントや日ごろの行動を参考に、ひとり一人の役割を決めて提供する。入居者の役割の記録を取り、出来ること出来ない事の情報共有を行い、各役割をブラッシュアップする。	3ヶ月
2	36	命令口調になりやすい。	不適切な言葉に対して職員同士で注意し合える環境を作る。	入居者の人生を紐解き、振り返ることで、命令するに値する人なのかを今一度省みてもらう。また、教育により介助者の表情、声のトーン、ジェスチャーなどのコミュニケーションスキルを向上する。	3ヶ月
3	3	地域密着型として地域貢献に与していない。	地域の一員として何かしらに参加する。	運営推進会議を活かして参加できるものを探して実行する。また、当施設独自に参加できるものを考えて行う。	3ヶ月
4	7	虐待防止への積極的な対応がされていない。	虐待の具体例を示した教育を行い、職員を虐待に向かわせない業務内容、人間関係などを考え、認識する。	今現在の介護の中の虐待(主に心身の拘束)を明確にする。また、教育により将来、どのような環境が虐待に繋がるかを周知させることで、各職員が現在の環境を考えるきっかけを作る。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。